

試料採取時間について

1 . 目的

VOC が排出される工程では、バッチ式の操業が行われるなど、常に平均的な濃度で VOC が排出されるとは限らない状況があるため、サンプリングの平均化時間について検討を行う。

2 . 検討方法

サンプリングの平均化時間について検討するために、実測調査によって得られた代表的な VOC 排出パターンを抽出し、その VOC 排出パターンにおける移動平均値を算出することにより、サンプリングの平均化を行った場合の濃度変動を調べた。その結果は別紙のとおり。

○ 排出パターン

- (1) 変動パターンがない場合 図 1
- (2) 短い周期で変動が規則的である場合 図 2
- (3) 長い周期で変動が規則的である場合 図 3
- (4) 短い周期で変動が不規則である場合 図 4
- (5) 長い周期で変動が不規則である場合 図 5

○ 移動平均の時間間隔

1 0 分、2 0 分、6 0 分 実測値は 3 分間毎の測定値である

図1 変動パターンがない場合（スクリーン印刷）

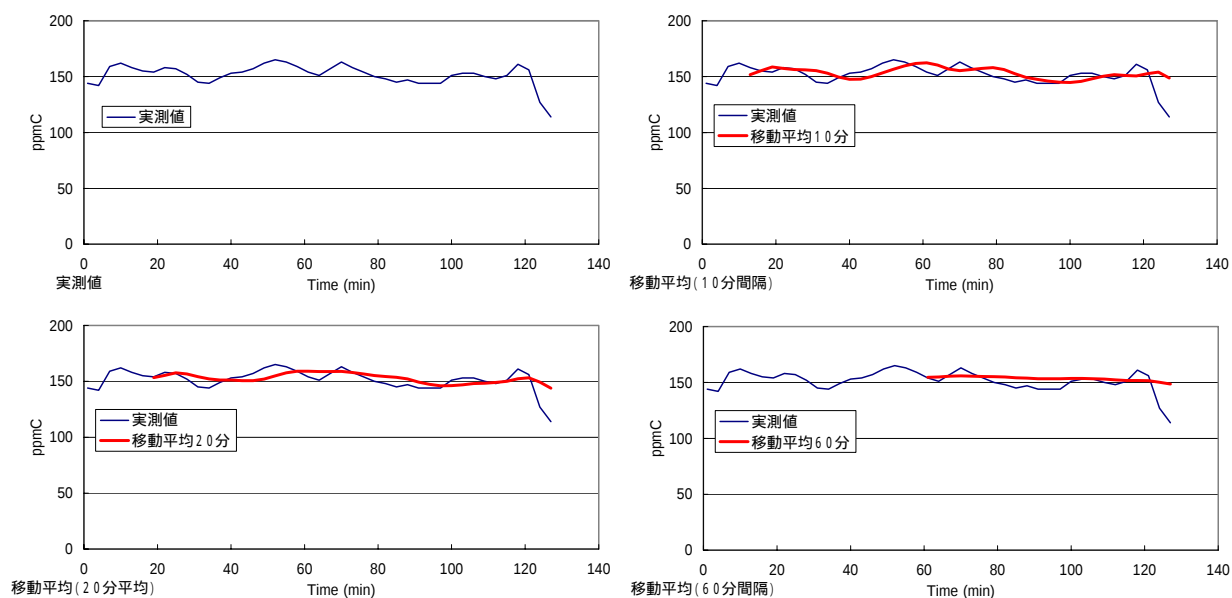


図2 短い周期で変動が規則的である場合（金属印刷）

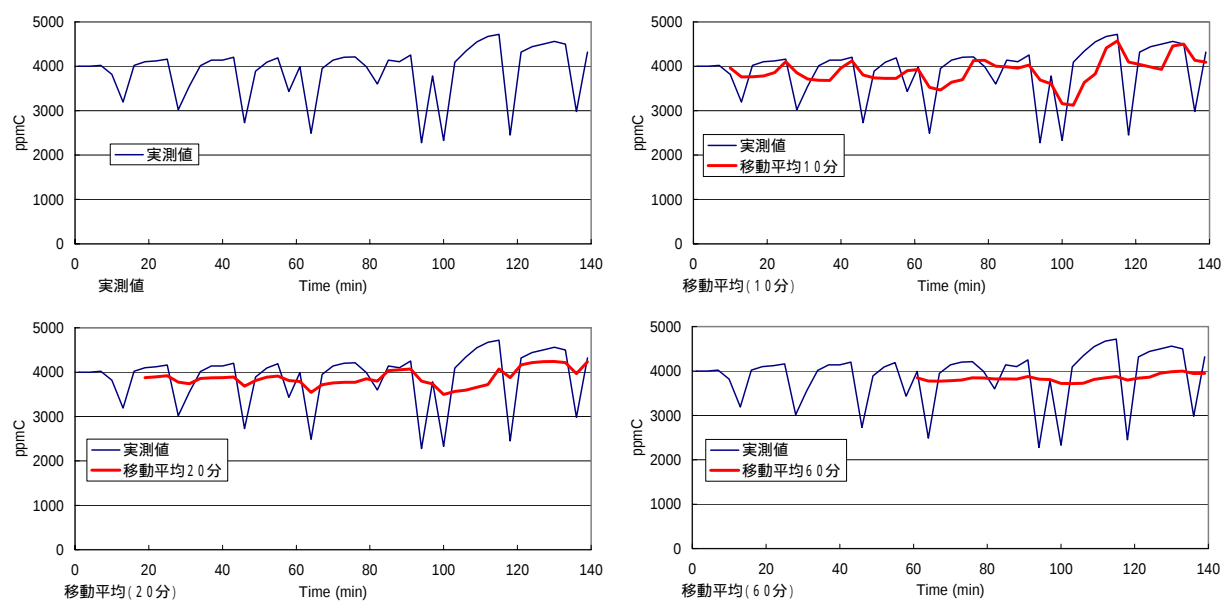


図3 長い周期で変動が規則的である場合（ラミネート加工）

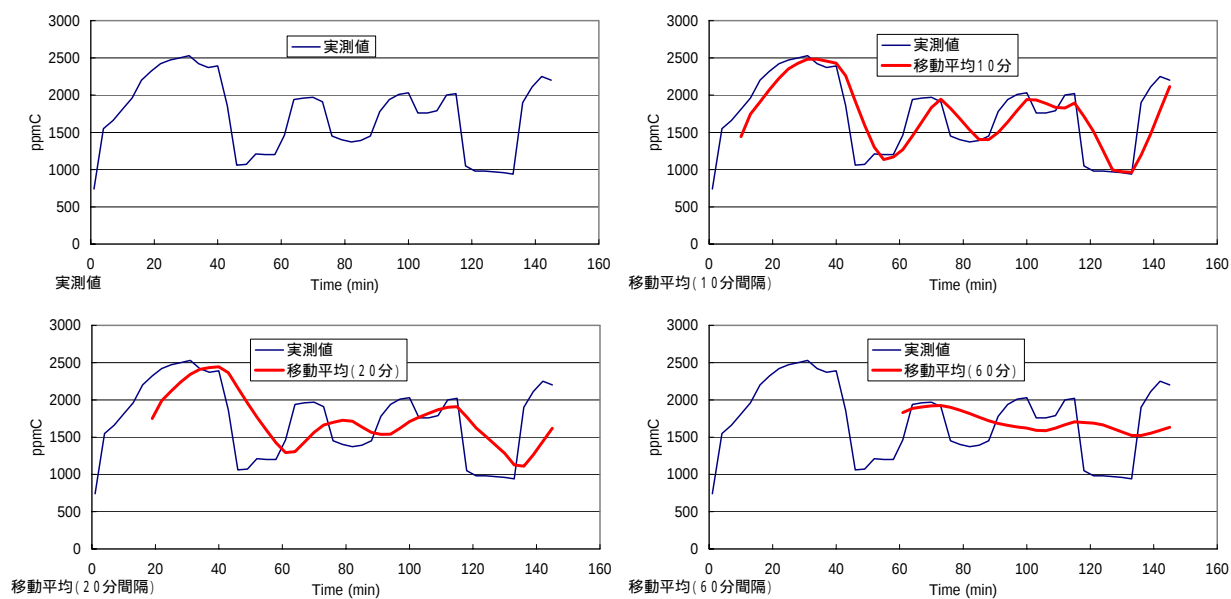


図4 短い周期で変動が不規則である場合（トリクレン脱脂洗浄）

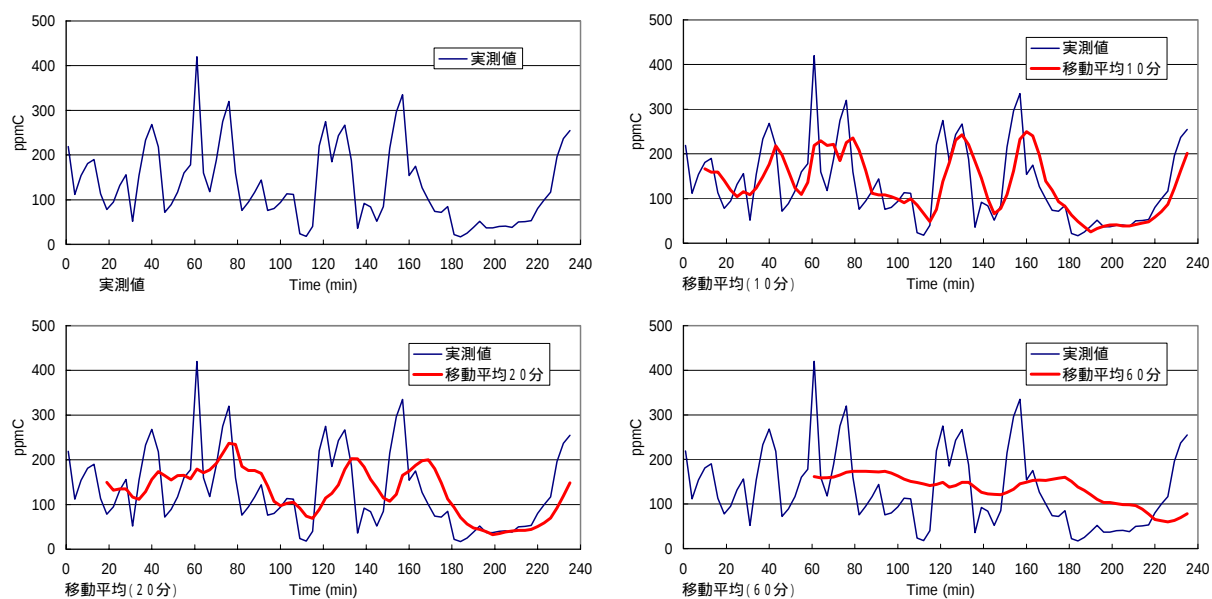


図5 長い周期で変動が不規則である場合（吹付け塗装）

